

金浦瓦版

編集・発行：金浦区自治会

発行日：令和3年3月2日

福知山大呂に於ける神社合祀の聞き取りについて

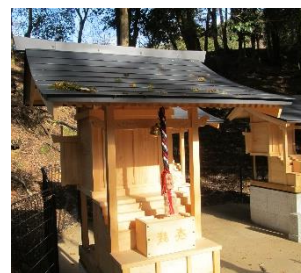


令和2年11月24日付けの両丹日日新聞に掲載された合同神社の記事は正に金浦区にとってタイムリーな情報でした。今年になりましてから、この事業を推進された4神社の筆頭総代のKさんをお願いして、金浦公民館でお話を聴く機会を設けることができました。その概要は、2月3日付の区内回覧でご覧戴いたところです。区役員と神社総代7名が聴講しました。



4つの神社は、鹿嶋・天満・八幡・福主神社で天寧寺(てんねいじ)の境内の一角に独立式の祠(ほこら)が建てられ神社の名前は八幡神社です。

4つの神社はフェンスで囲って神域が示されています。鍵はありません。鳥居をくぐって、段差の少ない階段と車椅子用のスロープが準備されています。神社の間際まで車で来られ、足下が汚れないように防塵舗装が施されています。鳥居は木製の方が高く、コンクリート制にすると70万円(但し、原価)はするとのこと。



祠一基で約40万円(但し、原価)

神社名を記した銘板石・裏側には神社の沿革が見られます。

区内神社が四方に離れ、お参りや維持管理に負担を感じている区民の状況と、今後避けることの出来ない少子高齢化の中で合祀を進めようとしています。ここで大切な事は、誠意を持って合祀させていただき、日常的に神に感謝し手を合わせ、ご加護を身に感じながらお祀りさせていただくという気持ちを持ち続けることです。合祀の全体計画・事業費・合意形成・神社庁や官司さんとの連携等で話し合いを重ねながら進めていかねばなりません。皆様の絶大なるご理解とご協力を心よりお願い致します。

夜久野町日置の高倉神社 本殿の他に平屋瓦葺きの建物に6つに区切られた祠に御神体が納めてあります。

